

● 鲁宝元 著 神里常雄 译

中国語と 中国文化

● 中日対訳本

● 汉语与 中国文化

汉日对照本



华语教学出版社

汉语与中国文化

(汉日对照本)

中国語と中国文化

(中日対訳本)

鲁宝元

章辉夫

神里常雄 译

金慕箴 审订

华语教学出版社

北 京

1999

责任编辑 贾寅淮

封面设计 安洪民

图书在版编目 (CIP) 数据

汉语与中国文化: 汉、日对照/鲁宝元著; (日) 神里常雄译. —北京:
华语教学出版社, 1999.5

ISBN7-80052-723-9

1. 汉…II. ①鲁… ②神…III. 对外汉语教学-语言读物-汉、日 IV. H195-5

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (1999) 第 12351 号

汉语与中国文化

鲁宝元 著 (日) 神里常雄 译

章辉夫 金慕箴 审订

*

©华语教学出版社

华语教学出版社出版

(中国北京百万庄路 24 号)

邮政编码 100037

电 话 (86) 10-68994599 68326333

电子信箱 sinolingua @ihw.com.cn

北京外文印刷厂印刷

中国国际图书贸易总公司发行

(中国北京车公庄西路 35 号)

北京邮政信箱第 399 号 邮政编码 100044

2000 年 (大 32 开) 第一版

(汉日)

ISBN7-80052-723-9/H · 723 (外)

定价: 36.00 元

9-CJ-3333P

序 言

80年代以来,中国语言学界一门新兴的边缘学科——文化语言学,逐渐发展起来。语言学的刊物发表了许多有关的论文,一些专著先后问世,把语言与文化结合起来进行研究,特别是把汉语和中国文化结合起来进行研究,取得了世人瞩目的成果。

把语言与文化结合起来进行研究热潮的出现是有其深刻原因的,这是因为语言与文化确实存在着密不可分的水乳交融的关系。一方面,语言是文化的载体,一个民族,一个国家,其社会制度,经济形态,价值观念,思维方式,风俗习惯等无不在其语言中得到反映。把语言和文化结合起来进行研究,可以透过语言看到与语言相关的文化现象,探究语言的文化的源流。另一方面,一个民族文化背景的发展变化又时时影响和制约着语言的发展变化。把语言和文化结合起来进行研究,它可以使我们从文化角度更好地认识语言,了解某种语言在语音、词汇、语法等方面的民族特点。文化语言学的出现,实际上开辟了语言学研究的新途径。把汉语与中国文化结合起来进行研究也开创了汉语研究的新局面。

任何学科的研究都希望其研究成果应用于社会,产生效益。语言学的研究也不例外。语言学研究成果应用的最大一个方面是语言的习得与语言教学。在这一方面文化语言学的研究成果所产生的社会效益是非常明显的。无论是母语的学习与教学还是第二语言的习得和教学,把语言与文化结合起来进行,都有助于更好地把握语言的特点,提高学习和教学的效率。语言研究成果的应

用的另一方面是指导社会交际。在这一方面文化语言学所起的作用也是非常明显的。特别是不同民族语言之间的跨文化交际,如果我们对不同民族语言之间的文化差异有着充分的了解,就能更好地克服文化障碍,促进交际的顺利进行。

笔者在北京外国语大学从事语言教学工作十余年,既教中国外语专业的学生学习汉语知识,又在国内外教过外国人学习汉语。进入80年代以来,碰到的问题一方面是中国外语专业的学生已不满足单纯地学习结构主义指导之下的一些语法知识,而要求把汉语学习同中国文化的學習结合起来,从文化方面认识汉语的本质;并与所学外语与外国文化相对比,以便在将来从事的跨文化交际中更好地做到知己知彼。无独有偶,所碰到的另一方面的问题是学习汉语的外国留学生也不满足于单纯学习汉语的语音、词汇和句型,而要求增加学习与汉语相关的文化知识,以便克服文化障碍,更好地理解运用汉语。来自这两方面的同一需要,实际上是整个世界语言学界文化语言学兴起的结果。为顺应这种需要,笔者从80年代中期开始在汉语教学中引入文化因素,并留意于语言与文化的研究工作。

鉴于中国的文化语言学还处于初创阶段,许多理论问题如:学科性质,学科研究的内容与任务,尚有很多歧见和争论,笔者自觉尚难定论。为了尽快适应教学需要,笔者没有把主要力量放在理论研究方面,而是就能够感觉到的汉语的语音、词汇、语法与中国文化各领域的关系进行一些粗浅的具体描述,或从汉语看与之相关的文化现象;或从文化背景看其对汉语发展变化的影响,研究所得,即整理成文,写成文章,在中外学生中开设的《汉语与中国文化》选修课上讲授,同时应《语文报》之约,开设“语言与文化”专栏,陆续发表。积之有年,文章渐多,爬梳整理,大致能够看出一个系统。朋友们看了,以为目前中国的文化语言学理论著作虽然出过若干,我的这些随笔式的文章虽然理

论深度不足，但内容具体，通俗易懂且有一定的趣味性，读后大致可以了解到汉语各方面与中国文化各领域关系的轮廓，结成一书付梓刊行，或可为中外汉语的学习者喜闻乐见。我的日本朋友——汉学家神里常雄先生，汉语及中国文化的根底深厚，对这些文章尤有厚爱，数年来将已经发表的文章陆续译成日文，介绍给日本的汉语学习者，获得好评。神里先生也建议尽快结集成书，并全力以赴将全书译完，率先出版日汉对照本。我们认为日汉对照本的主要读者一是日本的汉语学习者，对照阅读，既可以了解中国文化和汉语的有关知识，有利于运用汉语进行跨文化交际，同时也可以把它当作阅读教材，提高汉语的阅读能力。另外一部分读者是中国的日语学习者，对照阅读，可以了解自己的母语及与之相关的文化知识，便于与所学目的语——日语及日本文化相比较，有利于解决跨文化交际问题，同时也可以把它当作日语的泛读教材，提高日语的阅读能力。于是我们通力合作，历经四年余，终于完成此书，以贡献给我们预期的读者。希望能让读者喜欢并得到大家的批评指正。

中国外文局国家级日语专家章辉夫先生和北京师范大学日语教授金慕箴先生对本书进行了审阅和修改，纠正缺失，对此，我们表示衷心感谢。

同时，我们还要感谢华语教学出版社以及该社的总编贾寅淮先生，肯定我们的劳动成果和这本书的应用价值，并出版此书。

鲁宝元 1999年6月于北京

まえがき

八〇年代以来、中国言語学界の新興学際学科である文化言語学は次第に発展して来た。言語学の刊行物に言語文化に関する論文が数多く発表され、専門著作が相次いで発表された。中でも中国語と中国文化を結び付けた研究が進み、人々の注目を集める成果を挙げている。

言語と文化を結び付ける研究の風潮が現れた大きな理由は、言語と文化の間には水と乳のようによく融けあう切り離せない関係が存在し、言語は文化のキャリアーであり、民族、国家、社会制度、経済形態、価値観、思考方式、風俗習慣等はそのいずれをとっても言語に反映されないものではなく、言語と文化を組み合わせることに始って、言語と文化の相関現象と言語文化の源流を探求することが可能となるからである。また一民族の文化背景の発展変化は言語の発展変化にたえず影響や制約を与えるものである。言語と文化を同時に研究すると、文化の角度から言語が一層よく認識でき、ある言語の語音、語彙、文法などのその民族の特徴を理解することが出来るのである。文化言語学の出現は言語学研究の新しい方法を開いた。中国語と中国文化を結び付けて研究することは中国語研究に新局面を開いたのである。

いかなる学科の研究も、その研究成果が社会に役立ち、効果と利益をもたらすことを希望するものであり、言語学もその例外ではない。言語学の研究成果が応用される最大の分野は言語

の習得と言語教育である。この面における文化言語学の研究成果のもたらす社会的効果と利益はきわめて顕著である。母語の学習と教育であろうと、第二言語の学習と教育であろうと、言語と文化を関連づければ、その言語の特徴をよりよく把握し、学習と教育の効果を高めるのに役立つものである。言語研究の成果の応用のもう一つの面は社会におけるコミュニケーションを導くことである。この面に於ける文化言語学の役割も極めて顕著である。特に異なった民族間の文化交流で、我々が民族間の言語文化の相違を十分に理解するならば、文化的な障害を克服して、順調な交流を促進することができる。

筆者は北京外国語大学で言語教育に従事すること十有余年、外国語専攻の中国人学生に中国語に関する知識を教授し、国内外において中国語を学習する外国人の指導に当たってきた。八〇年代頃から突き当たってきた問題は、一方では外国語を専攻する中国人学生が構文中心の語学知識の習得に不満を感じていることであり、中国語の学習と中国文化の学習を結びつけて文化の面から中国語の本質を認識し、専攻する外国語とその国の文化を対比させながら学習し、将来異文化との交流に従事する際に己を知り相手を知るのに役立てたいという要望である。もう一つの問題は、中国語を学習する外国人留学生も単なる中国語の語音、語彙、文型の学習には不満足であり、中国語に関連する文化知識の学習を増やし、文化的な障害を克服し、中国語のより良い理解と運用に役立てたいという要望である。この二つの面から同じような要求が出されているのは、実は世界の言語学界に文化言語学が出現したことによるものである。この様な要望に応えるために、筆者は八〇年代中期から中国語の指導の中に文化的要素を導入し、同時に言語と文化の研究を進めるように心掛けた。

時あたかも中国の文化言語学の草創期にあたり、学科の性質、学科の研究内容と任務など多くの理論問題についてなお多岐にわたる意見や論争があり、筆者も未だにその論を定め難いところである。すみやかに教学の需要に対応するために、筆者は理論研究面の研究には主力を置かず、日常気についての中国語の語音、語彙、文法を中国文化と関連させて例を挙げて簡単な説明を行い、中国語から見た、あるいは関連のある文化現象の説明に努めた。時には文化背景から観察した中国語の発展変化に与える影響を研究し、その成果を文章にして整理し、国内および国外の学生のために開設した選択科目の『中国語と中国文化』で講義を行い、同時に『語文報』の求めに応じて同紙に『語言と中国文化』のコラムを開設して継続して発表した。数年にして、文章も多くなり、整理したところ大体一つの系統が見られるようになった。友人達は、現在中国には文化言語学の理論面の著作が少なく、筆者の随筆風の文章は理論面の深さは今一步というところだが、内容が具体的で分かりやすい上に面白いし、一読して中国語が実に多くの面で中国文化の色々な領域との関連のあらましが分かると言い、本にまとめて出版すればきっと内外の中国語学習者に喜ばれると言ってくれた。本書の共著者であり、日本語への翻訳を担当した筆者の友人である中国研究家神里常雄氏は、中国語および中国文化に関する堅実な基礎知識を有する方で、日本人の中国語学習者に氏の訳文を見せたところ好評を受けた。神里氏は早くこれらを一冊の本にまとめるべく全力を挙げて全編を訳了し、まず漢日対訳で出版することを提案された。我々はこの漢日対訳本の主要な読者を中国語を学習する日本人とし、漢日文を対照させて閲読し、すでに学んだ中国文化と関連する知識を理解し、中国語による異文化間の交流に役立てていただき、同時に講読資料として中国

語の読解力の向上に役立てて頂きたいと思う。その他の一部の読者は日本語専攻の中国人学生で、対照して閲読して母国語と関連する文化知識を理解し、学習する日本語と日本文化を比較しながら、異文化交流に役立てていただき、同時に本書を日本語の講読教材として用い、日本語の読解力の向上に役立てていただきたい。

着手以来すでに四年余を経過し、本書を読者の皆さんにお届けすることが出来ることは、我々のこの上ない喜びとするものである。ご愛読と忌憚のないご叱正を期待したい。

初稿完成後、中国外文局の日本語専門家章輝夫氏と北京師範大学の日本語教授金慕箴先生に校閲していただき、さらに助言をいただいた。ここに感謝の意を表す次第である。

最後に我々の労働の成果と本書の応用価値を評価し、一貫して御支持、御尽力いただいた華語教学出版社及び編集長賈寅淮氏に感謝申し上げる。

魯宝元 1999年6月北京にて

目 录

序言

• 汉语语音与中国文化 •

- 1 从《施氏食狮史》谈起 1
——汉语词汇的谐音现象
- 2 “年年有鱼（余）”与“碎碎（岁岁）平安” 6
——谐音替代与取吉避凶
- 3 “向前看”与“向钱看” 11
——谐音字和词语的翻造
- 4 道是无晴（情）却有晴（情） 16
——谐音与文学艺术

• 汉字与中国文化 •

- 5 仓颉造字，夜有鬼哭 21
——圣人造字说的由来
- 6 敬惜字纸与测字算命 26
——文字的迷信和崇拜
- 7 性别歧视与“女”字旁 31
——从汉字看古代女性的社会地位
- 8 贝币、铜钱与金银 36
——从汉字看中国古代的货币制度
- 9 丝绸与丝绸之路 41
——从丝字旁汉字看中国古代的丝绸业

• 汉语语汇与中国文化 •

10 状元、举人、秀才	45
——词汇与科举制度	
11 说“气”	50
——词汇与特有的思想观念	
12 从“毛病”说起	55
——词义的衍生与民族文化背景	
13 从“万元户”说起	60
——新词语与社会的发展变化	

• 汉语语法与中国文化 •

14 从“火”说起	65
——汉语词语的兼类现象	
15 “屡战屡败”与“屡败屡战”	70
——汉语词序的语法作用	
16 从“吃食堂”谈起	76
——汉语表达的意合特点	
17 “德才兼备”为什么不能说“才德兼备”	81
——社会的价值观念、道德标准与汉语构词方式	
18 汉语诗文中的对句艺术	86
——汉语表达的对称美	
19 对联	91
——汉语对句艺术与民俗	

• 汉语植物词的文化义 •

20 谈“桃”说“李”	98
——汉语植物词的文化义漫谈之一	
21 岁末春初话寒梅	105

——汉语植物词的文化义漫谈之二

- 22 采菊东篱下 113

——汉语植物词的文化义漫谈之三

- 23 岁寒然后知松柏之后凋 121

——汉语植物词的文化义漫谈之四

• 汉语动物词的文化义 •

- 24 说“龙” 127

——汉语动物词的文化义探源之一

- 25 鸡窝里飞出金凤凰 135

——汉语动物词的文化义探源之二

- 26 兽中的王者“虎” 142

——汉语动物词的文化义探源之三

- 27 说“马” 147

——汉语动物词的文化义探源之四

- 28 蒙冤受屈的中国狗 152

——汉语动物词的文化义探源之五

• 汉语颜色词的文化义 •

- 29 青、蓝、绿 160

——汉语颜色词的文化义探源之一

- 30 革命的红色词族 166

——汉语颜色词的文化义探源之二

- 31 从中央正色到色情的代称 173

——汉语颜色词的文化义探源之三

- 32 说“黑” 178

——汉语颜色词的文化义探源之四

- 33 说“白” 183

——汉语颜色词的文化义探源之五

• 汉语器物词的文化义 •

- 34 说“玉” 188
——汉语器物词的文化义漫谈之一
- 35 三分天下话鼎足 194
——汉语器物词的文化义漫谈之二
- 36 象棋与熟语 199
——汉语器物词的文化义漫谈之三
- 37 算盘与算盘相关的熟语 204
——汉语器物词的文化义漫谈之四

• 数字词与中国文化 •

- 38 从“一”说起 210
——数字词的文化义
- 39 受欢迎的“8”与令人讨厌的“4” 217
——数字的好恶

• 姓名、别称、地名与中国文化 •

- 40 从“留名青史”说起 223
——名字的产生与命名的方式方法
- 41 张、王、李、赵遍地流（刘） 230
——中国人的姓氏和姓氏观念
- 42 中国地名来源浅说 237
——地名与文化
- 43 “诸葛亮”与“司马昭” 242
——特定人物名字的文化义
- 44 “须眉”与“裙钗” 247

——汉语别称词的文化义

• 汉语与中国古代哲学 •

- 45 学而不厌，诲人不倦 253
——来自《论语》的成语与格言
- 46 言之无文，行之不远 259
——孔子的言语观念
- 47 民为重，社稷次之，君为轻 264
——孟子的思想及来自《孟子》的成语名言
- 48 祸兮福所依，福兮祸所伏 271
——老子的哲学思想和来自《老子》的成语格言
- 49 庄周梦蝶还是蝶梦庄周 278
——庄子的哲学思想及其对社会语言生活的影响

• 汉语与宗教信仰 •

- 50 说“天” 285
——原始信仰与相关的语言现象
- 51 佛、菩萨、觉悟与烦恼 291
——佛教的传入与来自佛教的外来词
- 52 苦海无边，回头是岸 298
——来自佛教教义和制度的成语
- 53 一人得道，鸡犬升天 303
——道教与道教相关的语言现象
- 54 地狱与阎王 308
——民间信仰与相关的语言现象

• 汉语与中国生活习俗 •

- 55 穷家难舍，故土难离 313

——家与家相关的语言现象	
56 民以食为天	319
——吃饭问题与相关的语言现象	
57 男大当婚,女大当嫁	324
——婚姻问题与相关的语言现象	
58 杜康造酒刘伶醉	330
——酒与酒相关的语言现象	
59 从神农尝百草谈起	336
——茶与茶相关的语言现象	
60 冠、冕、巾、帻、帽	341
——服饰与服饰相关的语言现象	
• 汉语与中国交际习俗 •	
61 “吃饭了吗?”和“你去哪儿?”	346
——汉语招呼用语的文化特征	
62 从“哪里,哪里”说起	353
——汉语交际中的尊敬语和自谦语	
63 只许州官放火,不许百姓点灯	360
——汉语交际中的语言禁忌	
64 从“同志”、“师傅”到“先生”、“小姐”	365
——汉语交际中的社会称谓	
65 摇头不算,点头算	372
——汉语交际中的体态语	
• 汉语与中外文化交流 •	
66 “黄鸟歌”与“鲤鱼书”	377
——汉字汉文是怎样传入古代朝鲜的	
67 “乡扎”和“吏读”	384

—古代朝鲜对汉字的利用	
68 从汉字到谚文	389
—民族文字的创制与使用	
69 《老乞大》与《朴事通》	394
—古代朝鲜对汉语的学习	
70 从“汉委奴国王”印说起	399
—汉字汉文是怎样传入古代日本的	
71 从万叶假名到平假名、片假名	404
—民族文字的创制与使用	
72 和字	409
—日本自造的汉字	
73 “切符”与“切手”	414
—日本造汉字词语	
74 从“革命”等词汇谈起	420
—来自日本的汉字外来语	
75 从“儒字”谈起	425
—汉字汉文是怎样传入古代越南的	
76 古代越南汉文化的发达	430
—盛唐时代中越文化交流	
77 “字喃”与越南语罗马字化	435
—民族文字的创制与衰废	
78 “支那”与“赛里丝”	440
—丝绸的西运与外国对中国的古称	
79 从“葡萄”谈起	445
—张骞通西域与早期外来语	
80 说“洋”	450
—国外新事物的传来与词汇的变化	
81 从利玛窦的《西字奇迹》到《汉语拼音方案》的产生	455